

薩摩硫黄島

概 況

7～8日、10～11日、21日に噴火が発生し、火山活動はやや活発な状態となりました。

噴煙活動の状況

噴煙は、灰白色・中量で噴煙高度の最高は7日の1,000m(5月:600m)でした(図1、図4)。噴煙の高さが1,000mに達したのは、平成11年8月に三島村役場硫黄島出張所からの報告開始以来初めてです。灰白色の噴煙は8日にも確認されました。

降灰が確認されたのは7日、10～11日、21日でした。

地震・微動活動の状況

A型地震の回数は1日あたり0～6回で月回数は41回(5月:53回)、B型地震の回数は1日あたり0～30回で月回数は326回(5月:224回)とやや多い状態が続きました(図2、図5～8)。火山性連続微動が6日23時42分～14日01時18分まで、観測しました。継続時間の短い火山性微動は26回(5月:5回)観測しました(図3、図9、図10、図13)。

火口や噴気地帯の状況

5日、海上自衛隊鹿屋航空基地救難飛行隊の協力により、上空からの観測を実施しました。噴煙は白色、高さは200mで南に流れていました。噴煙・噴気は、火口周辺および火口内全体から上がっており、特に火口北側の噴気地帯および南側の大鉢火口の2ヶ所から勢いよく上がっていました(図11、図12)。臭気は強烈な硫黄臭でした。

また、火口の南にあった割れ目(クラック)は、積灰のため確認できませんでした。

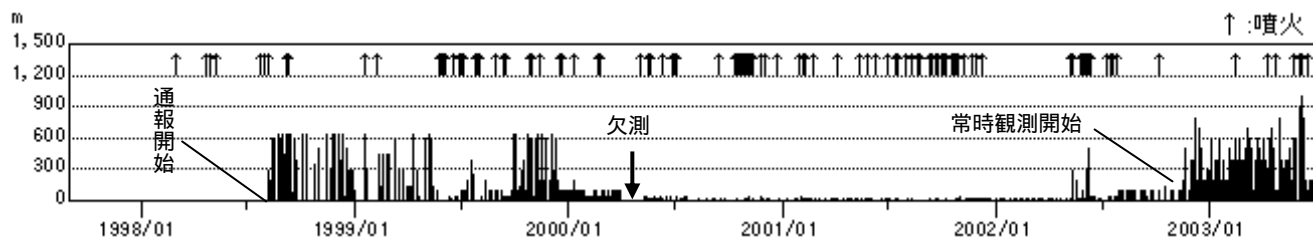


図 1 日別噴煙最高高度(1998 年 8 月 ~ 2003 年 6 月)

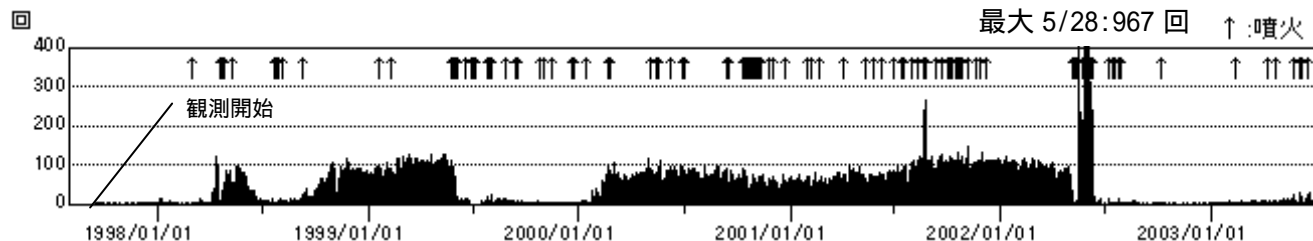


図 2 火山性地震の日別回数(1997 年 9 月 ~ 2003 年 6 月)

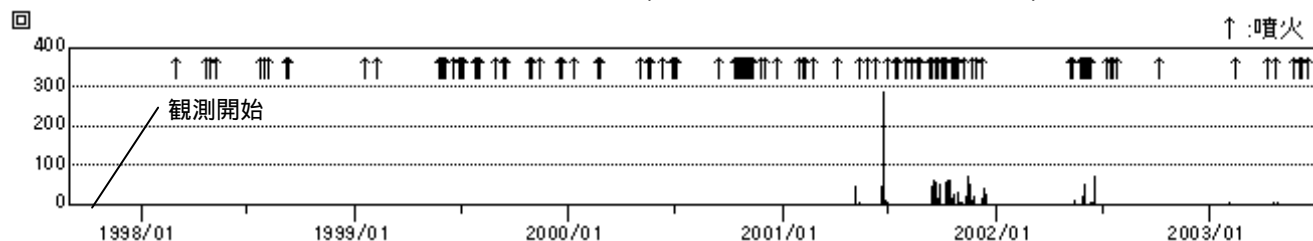


図 3 火山性微動の日別回数 (1997 年 9 月 ~ 2003 年 6 月)

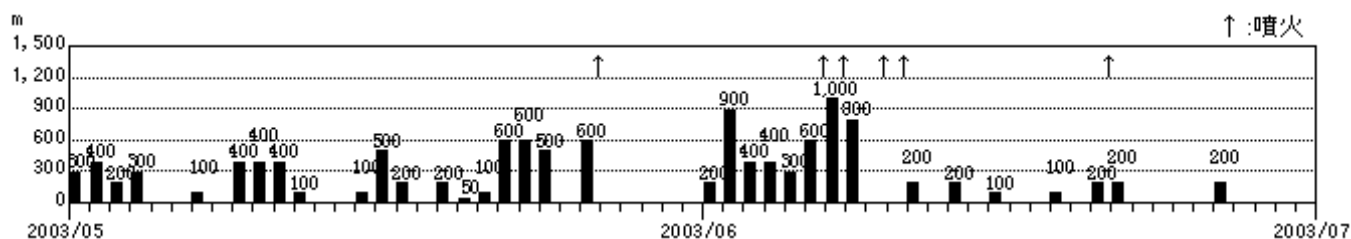


図 4 日別噴煙最高高度(2003 年 5 月 1 日 ~ 6 月 30 日)

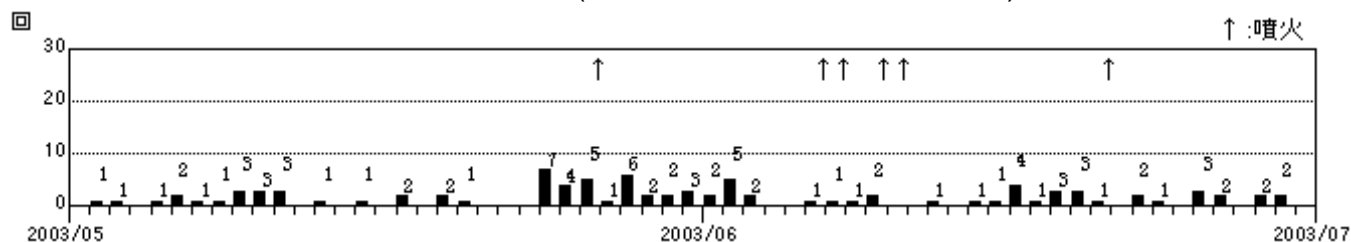


図 5 A型地震の日別回数(2003 年 5 月 1 日 ~ 6 月 30 日)

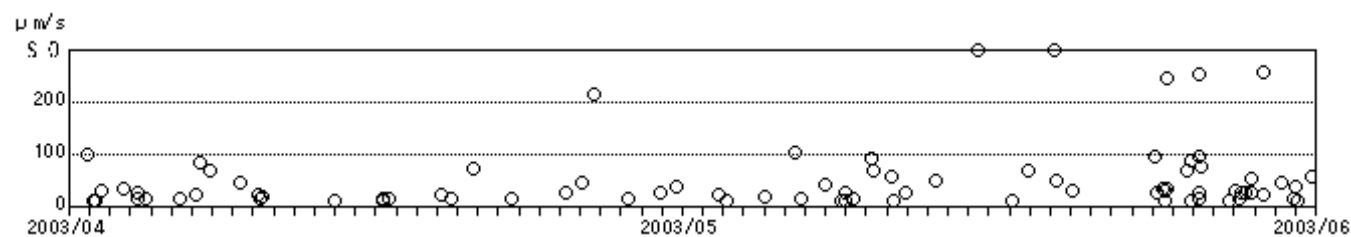


図 6 A型地震の最大振幅(上下動)(2003 年 5 月 1 日 ~ 6 月 30 日)

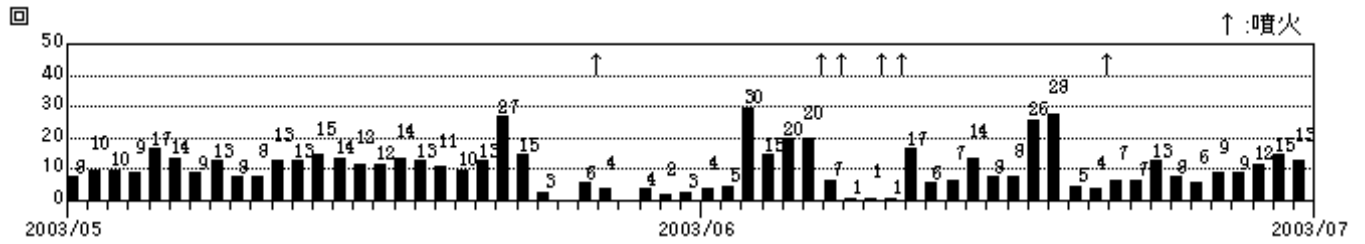


図7 B型地震の日別回数(2003年5月1日～6月30日)

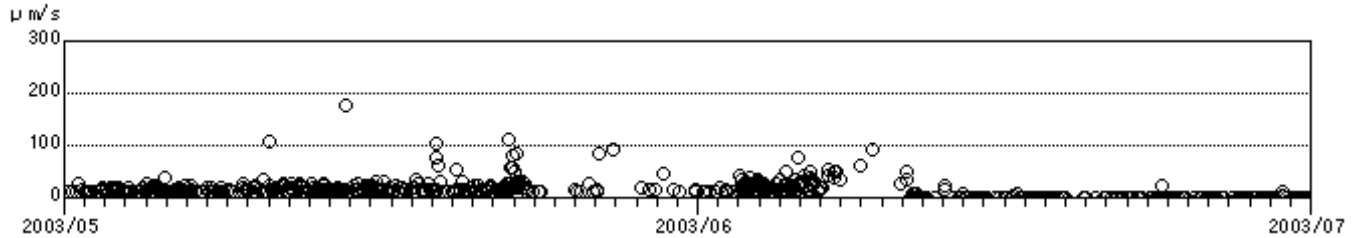


図8 B型地震の最大振幅(上下動)(2003年5月1日～6月30日)

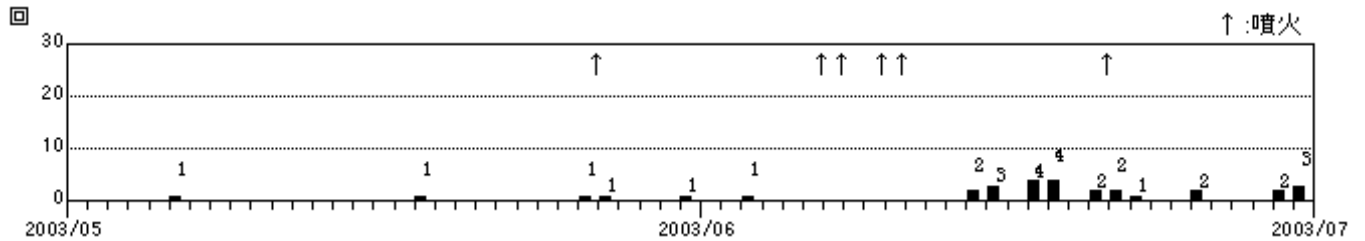


図9 火山性微動の日別回数(2003年5月1日～6月30日)

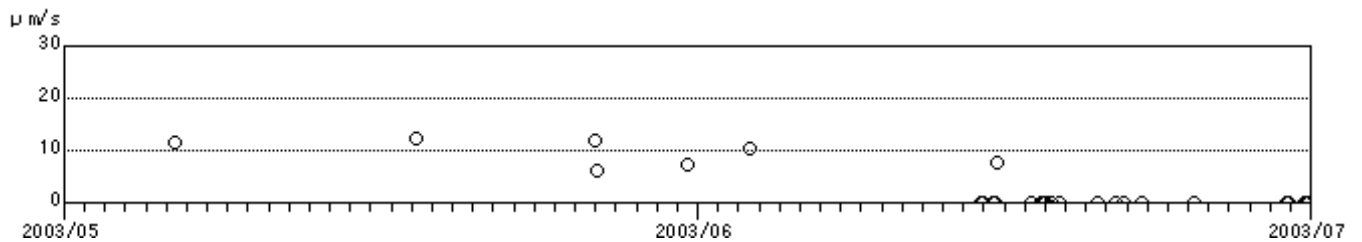


図10 火山性微動の最大振幅(上下動)(2003年5月1日～6月30日)



図11 北東から見た薩摩硫黄岳火口全景
噴煙は火口全体から上がっていた。

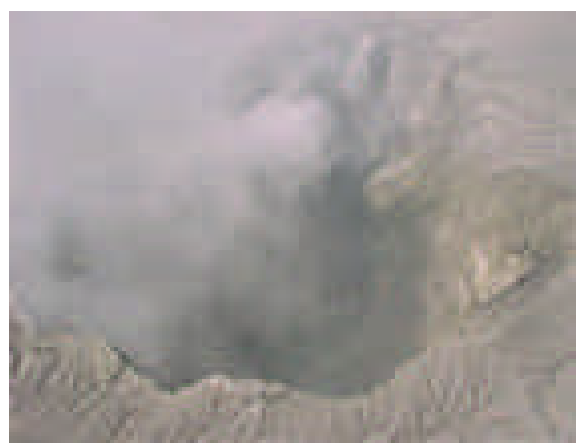


図12 南から見た大鉢火口
火口の長径(南北)は約100m程度。

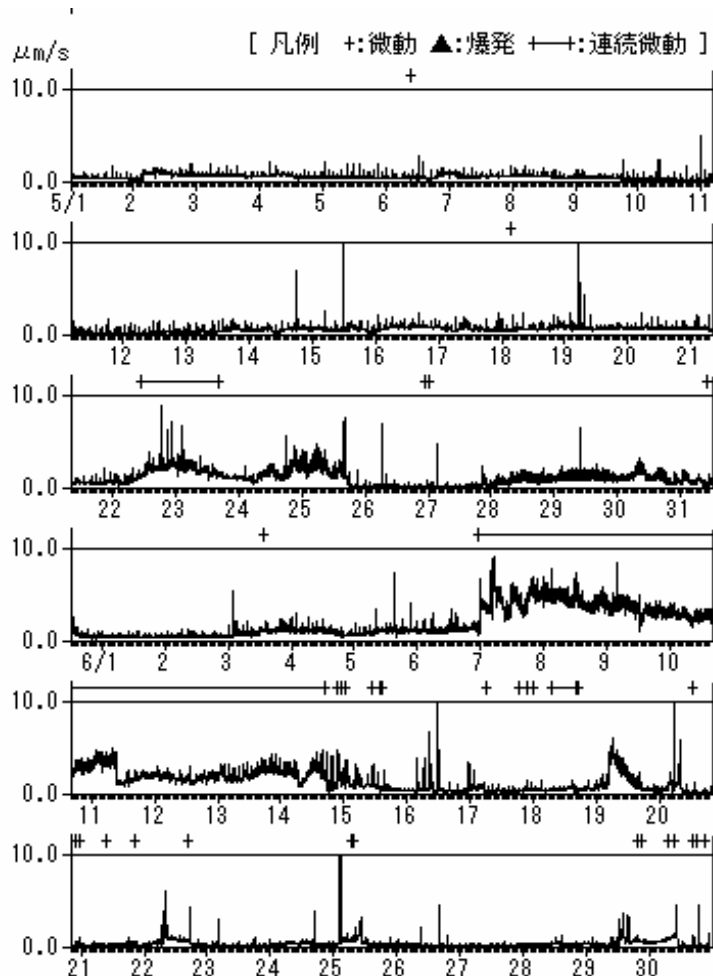


図 13 1 分間平均振幅の時間変化(上下動)(2003 年 5 月 1 日 ~ 6 月 30 日)



図 14 観測点位置図